

# 【和食文化連続講座】

# わたしたちの食と環境

近年の気候変動の影響によって、私たちが前提としてきた食料生産の基盤が大きく揺らいでいます。さらに、ロシアのウクライナ侵攻などの戦争、感染症の流行に伴う食料供給の不安定化が、世界各地でさまざまな問題を引き起こし、日本でも影響が広がっています。

今年度は、こうした状況をふまえ、私たちの食をとりまく環境問題や、それに対する市民社会の活動に焦点をあてて講座を開催します。みなさまが、食と環境の問題を、身近なところから考える出発点にしていただければと思います。

第1回 | Food in 風土  
～やはり日本の食は米と魚に回帰する～  
令和5年 1月8日(日) 14:00～16:00

第2回 | 市民社会による環境と食への取組  
～私たちにできること～  
令和5年 1月28日(土) 10:00～12:00

第3回 | 食卓にある野生  
～なぜ食が地球環境問題なのか～  
令和5年 2月26日(日) 14:00～16:00

## 会場

京都府立  
京都学・歴史館  
【大ホール】



## 受講料

全3回 3,000円【学生無料】

## 定員

200名【先着順】

## 申込締切

令和4年11月25日(金)

# 【和食文化連続講座】わたしたちの食と環境 全3回

## 第1回

### Food in 風土

～やはり日本の食は米と魚に回帰する～

令和5年1月8日(日) 14:00～16:00

講師：佐藤 洋一郎 (京都府立大学文学部特別専任教授)

温暖化、コロナ禍、ウクライナ侵攻…。21世紀の世界は急激に不安定になりつつあります。人類社会は生存のためにどのような食文化を構築すべきか、「風土」論の立場から食の未来を考えます。

## 第2回

### 市民社会による環境と食への取組

～私たちにできること～

令和5年1月28日(土) 10:00～12:00

講師：新川 達郎 (同志社大学名誉教授、総合地球環境学研究所客員教授)

気候危機や食料危機をはじめ私たちの環境と食をめぐる危機的な事態が続いています。危機に対するNPOやNGO、ボランティア団体など私たち市民社会組織による取り組みについて考えます。

## 第3回

### 食卓にある野生

～なぜ食が地球環境問題なのか～

令和5年2月26日(日) 14:00～16:00

講師：田村 典江 (事業構想大学院大学専任講師)

農業技術が発達した現代においても、私たちの食卓には野生との関係が色濃く残されています。野の視点から食卓を見ることで、地球環境問題としての食について考えます。

#### 【 申 込 方 法 】

令和4年11月25日(金) 〆切

##### 郵 送 の 場 合

本チラシ下部の「申込書」に必要事項を記入し、郵送して下さい。

##### 申込フォームの場合

URL又はQRコードからアクセスし、必要事項を入力して下さい。

申込フォームURL <https://forms.office.com/r/NYPwb5XnjC>

※原則として全3回ご参加いただける方を対象とします。

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。お早めにお申し込み下さい。



#### 【 郵 送 先 ・ 問 合 せ 先 】

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5  
京都府立大学 京都和食文化研究センター  
「連続講座」係  
TEL.075-703-5251  
Email:kpuwashoku@kpu.ac.jp

----- 切り取り線 -----

### 【和食文化連続講座】わたしたちの食と環境 参加申込書(郵送用)

※コピー可

氏 名	(フリガナ)		
住 所	〒 - ※記載の住所に案内書をお送りします		
TEL	メール アドレス		
所属組織	本講座の受講歴 (有 / 無)		
該当する方に チェック✓	<input type="checkbox"/> 一 般 (※受講決定後、受講料 全3回分¥3,000を支払うことに同意します)		
	<input type="checkbox"/> 学 生 (※受講決定後、学生証の写しを提出します)		